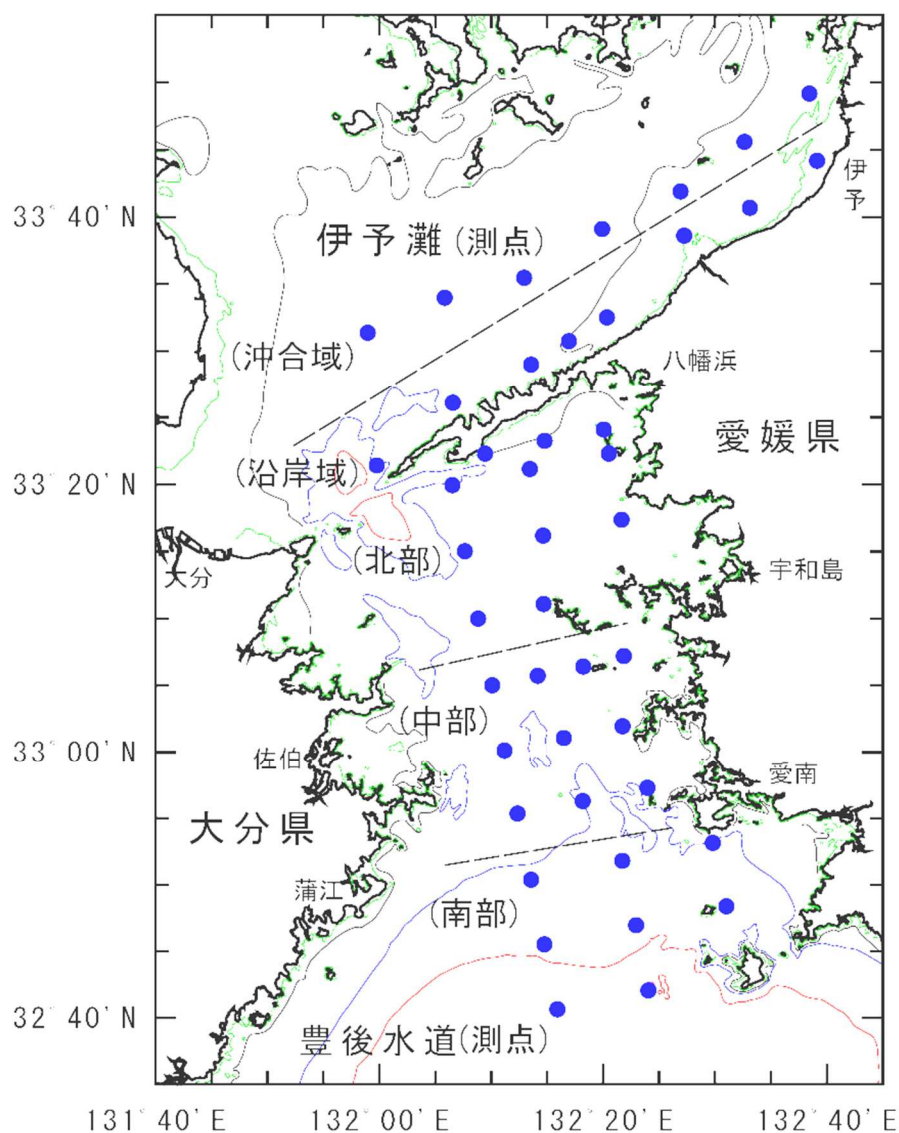


豊後水道東側（宇和海）の海況と小型浮魚類
（イワシ類・マアジ・サバ類）の出現状況について
2022 年 7 月～11 月の経過と 2023 年 1 月～6 月の予測



2023 年 1 月 27 日

愛媛県農林水産研究所 水産研究センター

環境資源室

○概要

令和4年12月20日、21日に国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所が、太平洋側21都道府県の関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて太平洋側の漁海況経過の総括と予測を行うため長期漁海況予報会議を行いました。そこで、2022年7月～11月について太平洋側の海況と浮き魚5種（マイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類）の漁況経過を取りまとめ、2023年1月～6月の漁海況の予測を行いました。

本稿では豊後水道東側における漁海況の経過と予測についての概要を紹介し
ます。詳細については、水産研究・教育機構のHPをご参照ください。

([20221223](#) | [プレスリリース](#) | [水産研究・教育機構 \(affrc.go.jp\)](#))

○海況 ※平年:平成3年(1991年)～令和2年(2020年)の30年間の平均

【2022年7～11月の海況経過】

◇水温

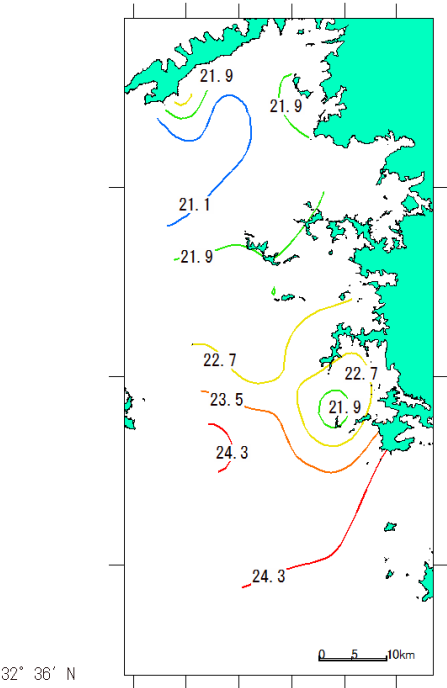
北部：7月は0～10m層で「やや高め」、20～75m層で「平年並み」。8月は0～50m層で「平年並み」、75m層で「やや高め」。9月は0m層で「高め」、10～50m層で「かなり高め」、75m層で「やや高め」。10月は0m及び75m層で「高め」、10～50m層で「かなり高め」。11月は0～20m層で「やや高め」、50～75m層で「高め」(図1参照)。

中部：7月は0m層で「やや高め」、10～75m層で「平年並み」。8月は全層で「平年並み」。9月は0～20m層で「高め」、50m層で「平年並み」、75m層で「やや高め」。10月は0～10m及び75m層で「高め」、20～50m層で「かなり高め」。11月は0～20m層で「やや高め」、50～75m層で「高め」(図1参照)。

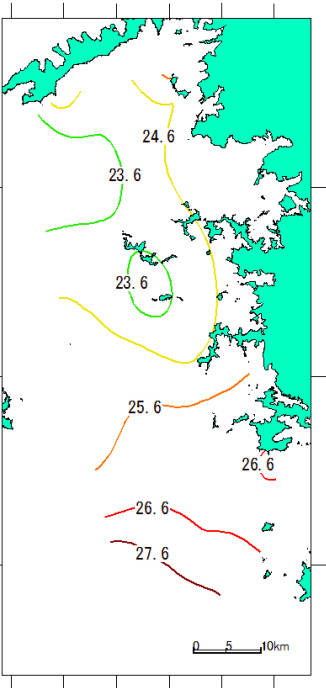
南部：7月は0m層で「やや高め」、10～100m層で「平年並み」。8月は0m層で「やや高め」、50m層で「やや低め」、10～20m及び75～100m層で「平年並み」。9月は0m層で「平年並み」、10～100m層で「やや高め」。10月は0～75m層で「やや高め」、100m層で「平年並み」。11月は0～75m層で「やや高め」、100m層で「高め」(図1参照)。

【水温 (10m 層・℃)】

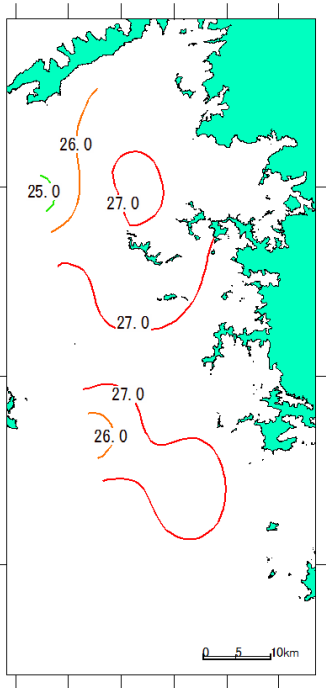
7 月



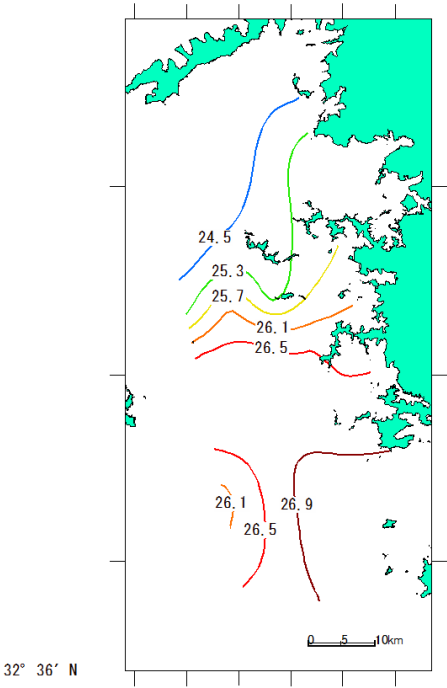
8 月



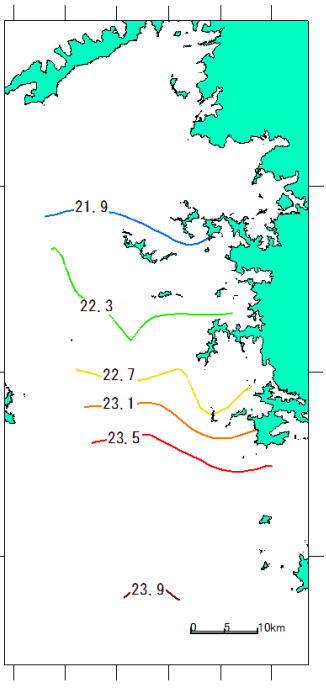
9 月



10 月



11 月



	水深	6月	7月	8月	9月	10月	11月
豊後水道 北部 (愛媛)	観測日	6/20	7/6	8/17	9/7	10/6	11/16
	0m	+-	+	+-	++	++	+
	10m	+-	+	+-	+++	+++	+
	20m	+-	+-	+-	+++	+++	+
	50m	+-	+-	+-	+++	+++	++
	75m	+	+-	+	+	++	++
豊後水道 中部 (愛媛)	観測日	6/15	7/7	8/18	9/8	10/3	11/15
	0m	-+	+	-+	++	++	+
	10m	-+	+-	-+	++	++	+
	20m	+-	+-	+-	++	+++	+
	50m	+-	-+	-+	+-	+++	++
	75m	+	+-	+-	+	++	++
豊後水道 南部 (愛媛)	観測日	6/16	7/8	8/19	9/9	10/4	11/11
	0m	+	+	+	+-	+	+
	10m	+	+-	+-	+	+	+
	20m	+	+-	-+	+	+	+
	50m	++	-+	-	+	+	+
	75m	++	-+	-+	+	+	+
	100m	+	-+	-+	+	+-	++

評価基準
+++ (---) : 平年よりかなり高め(低め)
++ (--) : 平年より高め(低め)
+ (-) : 平年よりやや高め(低め)
+- (-+) : 平年並み (プラス, マイナス基調)

図1 豊後水道東側における月別の海況図と水温年偏差

◇黒潮

✓都井岬沖：9月まで離岸傾向、その後は概ね接岸傾向で推移した。

✓足摺岬沖：8月は「著しく離岸」、9月下旬～11月は「かなり離岸」で推移した。



1月25日の海況図（海上保安庁 海洋情報部 HP より引用）

【2023年1～6月の黒潮の見通し】

都井岬～足摺岬沖では、接岸傾向で推移するが、一時的に離岸することがある。

○漁況 ※近年：過去5年間の平均 平年：過去20年間の平均

マイワシ

【2022年7～11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚げ量は、7～11月を通してわずかであった。盛期は8～9月であったが近年の水揚げ量大きく下回った。月別には7月0.2トン、8月22.8トン、9月18.2トン、10月1.4トン11月2.7トンで、計45トン対前年比82%、対近年比6%、対平年比9%であった（図2、3参照）。

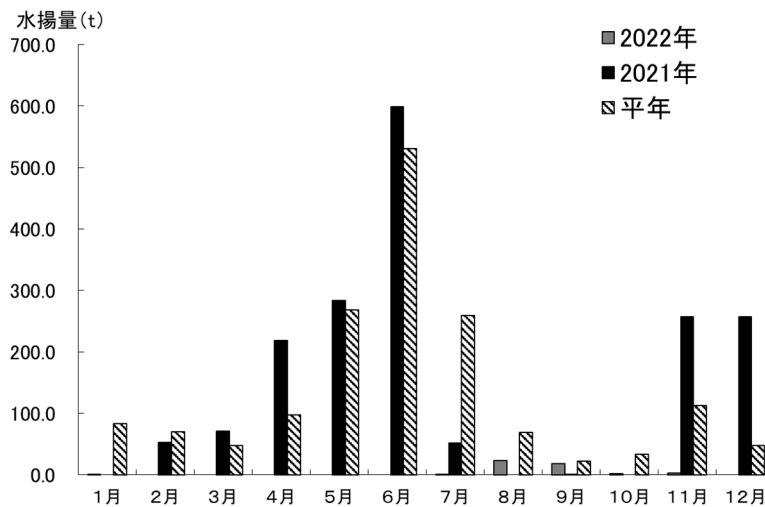


図2 豊後水道東側における月別マイワシ水揚げ量

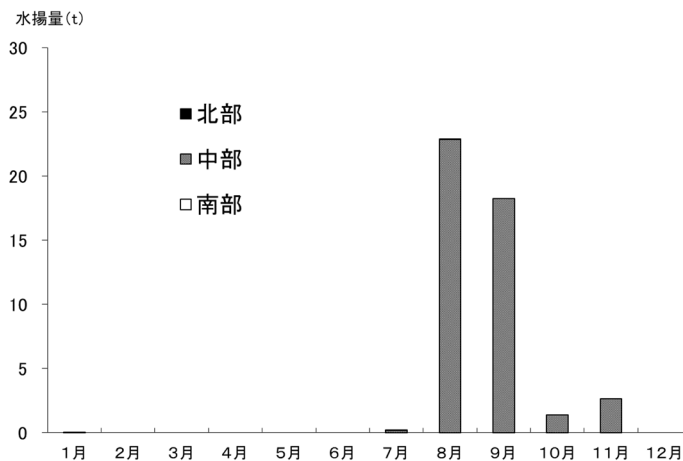


図3 豊後水道東側における海域別のマイワシ水揚げ量

【2023年1～6月の漁況予測】

予測期間中の漁獲対象となる0歳魚の水揚げ量について、2022年7～11月の水揚げ量が前年同期を大幅に下回っていることから、前年同期を下回ると予想される。

カタクチイワシ

【2022 年 7～11 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚げ量は、7 月 714.8 トン、8 月 687.9 トン、9 月 1014.9 トン、10 月 284.5 トン 11 月 169.7 トンで、計 2873 トン（対前年比 74%、対近年比 82%、対平年 108%）であった（図 4、5 参照）。

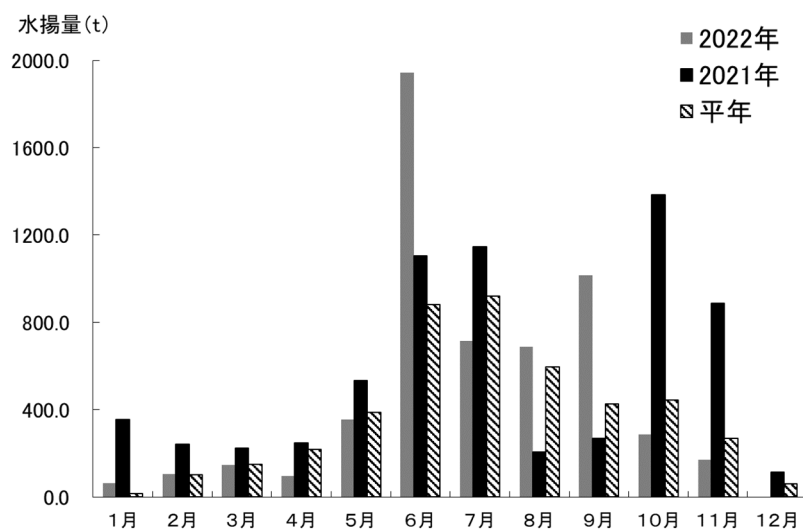


図 4 豊後水道東側における月別カタクチイワシ水揚げ量

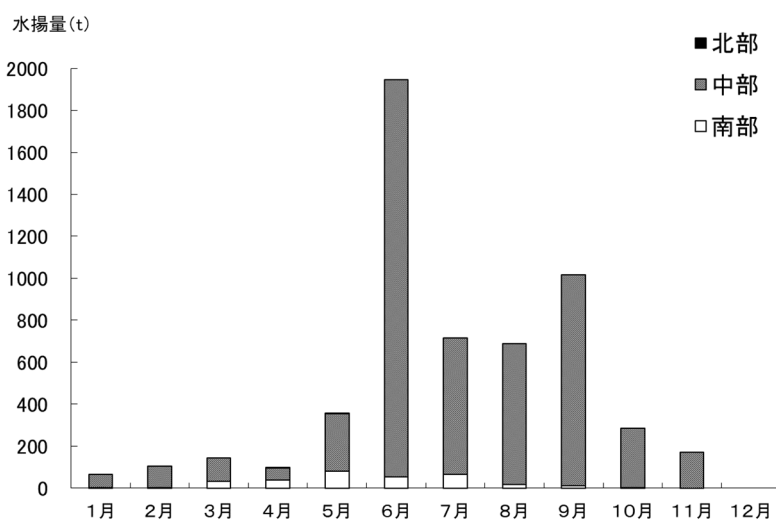


図 5 豊後水道東側における海域別のカタクチイワシ水揚げ量

【2023 年 1～6 月の漁況予測】

当歳魚が主体となった 7～11 月におけるカタクチイワシの水揚げ量は、前年を下回ったことから、来遊水準は前年を下回ると予想される。

ウルメイワシ

【2022 年 7～11 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7 月 304.8 トン、8 月 264.1 トン、9 月 176.8 トン、10 月 15.4 トン 11 月 28.6 トンで、計 789.8 トン（対前年比 18%、対近年比 23%、対平年比 31%）であった（図 6、7 参照）。

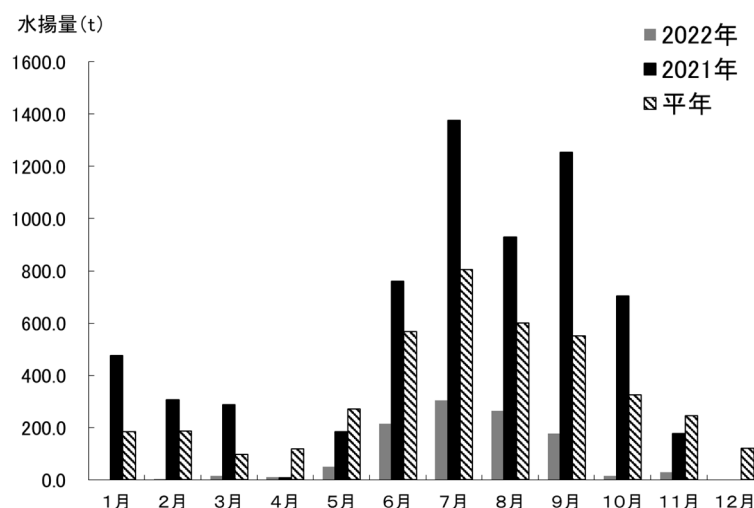


図 6 豊後水道東側における月別ウルメイワシ水揚量

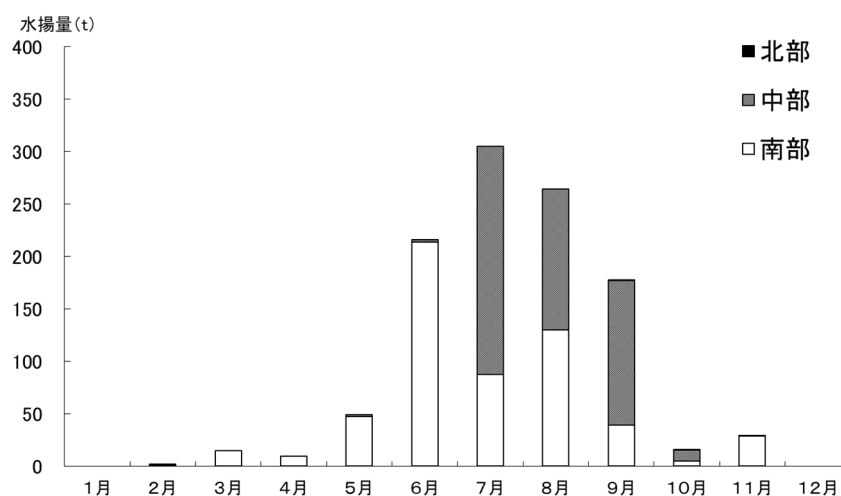


図 7 豊後水道東側における海域別ウルメイワシ水揚量

【2023 年 1～6 月の漁況予測】

本県では、予測期間中は 0 歳魚（2023 年級群）が漁獲の主体となる。これらの個体の産卵親魚になり得る当歳魚及び 1 歳魚の水揚量が前年同期を大幅に下回っていることから、来遊水準は前年同期を下回ると予測される。

マアジ

【2022 年 7～11 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7 月 52.8 トン、8 月 69.6 トン、9 月 43.2 トン、10 月 62.4 トン 11 月 56.7 トンで、計 285 トン（対前年比 70%、対近年比 36%、対平年比 17%）であった（図 8、9 参照）。

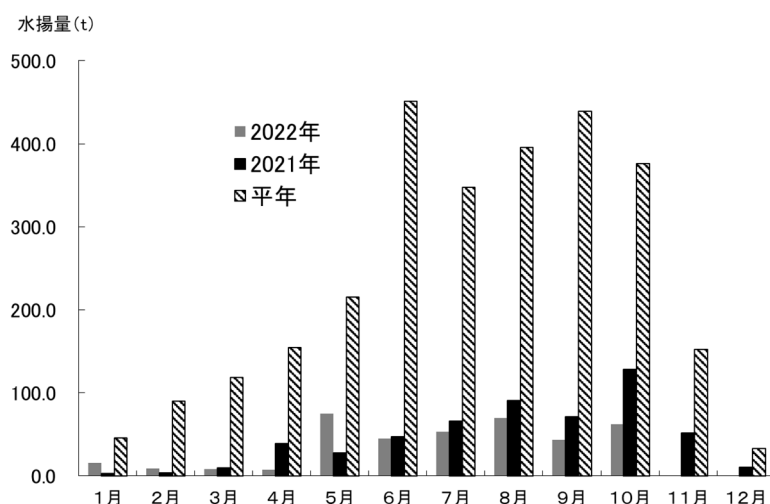


図 8 豊後水道東側における月別マアジ水揚量

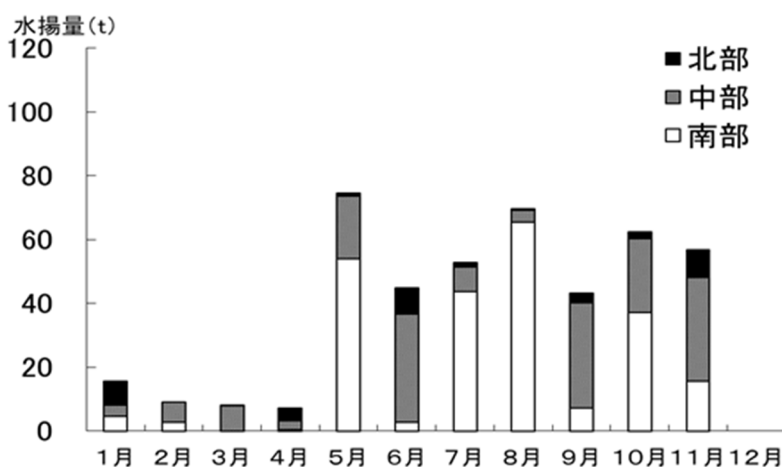


図 9 豊後水道東側における海域別マアジ水揚量

【2023 年 1～6 月の漁況予測】

当期は 1 歳魚以上のマアジが期間を通じて漁獲され、例年だと 5 月ごろから 0 歳魚の漁獲が始まる。0 歳魚の来遊水準の予測は難しいが、2023 年に 1 歳魚となるゼンゴ（0 歳魚）の水揚量が前年と同等であることから 1 歳魚の来遊水準は前年同期と同等であると予想される。

サバ類

【2022 年 7～11 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7 月 95.7 トン、8 月 114.3 トン、9 月 88.9 トン、10 月 19.2 トン 11 月 36.5 トンで、計 385 トン（対前年比 104%、対近年比 25%、対平年比 24%）となった（図 10、11 参照）。

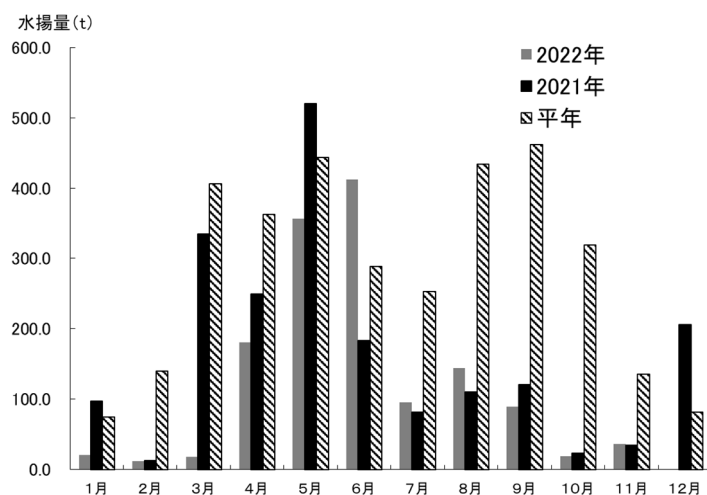


図 10 豊後水道東側における月別サバ類水揚量

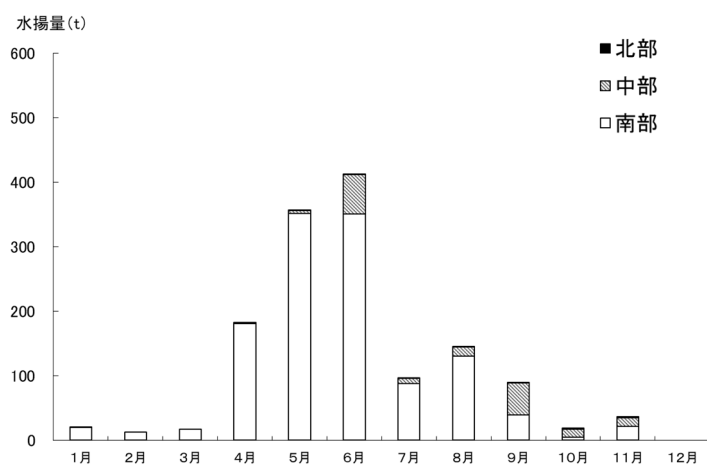


図 11 豊後水道東側における海域別サバ類水揚量

【2023 年 1～6 月の漁況予測】

本県海域におけるサバ類の水揚量は前年と同等であったため、来遊水準は前年同期と同等になると予測される。また、両種の資源状態から、今後もマサバを中心に来遊すると予想される。